

核兵器用核分裂性物質生産禁止条約（FMCT）フレンズ
ハイレベル立上げ会合
岸田総理大臣締めくくり挨拶
令和6年9月23日（月）

FMCTフレンズ創設メンバーの皆様、

本日は立ち上げ会合にお集まりいただき、改めて感謝します。皆様からFMCT交渉開始への支持拡大に向けた意欲を直接伺い、大変心強く思います。

スタッフからは常々、挨拶は短く、と注意されますが、こと核軍縮についてはどうしても欲が出てしまいます。

来年の被爆80年を見据え、そして、2026年のNPT運用検討会議に向けて、我々は、NPT体制が核軍縮・不拡散体制の礎石であることを実際の行動によって示す必要があります。国際安全保障環境が益々厳しさを増す今だからこそ、我々は、このNPT体制の下で核軍縮を前進させていかなければなりません。

FMCTフレンズは、まさに3つのC、すなわち停滞するFMCT交渉開始に向けた、関係国間の対話のコア（core）となり、利害の対立する国々との間のコミュニケーター（communicator）となり、そして対話を加速させるカタリスト（catalyst）となることが期待されています。

被爆地広島出身の一市民として、私には、核廃絶に向けた強い願いがあります。同時に、唯一の戦争被爆国である日本の責任ある政治家として、私は日本が「核兵器のない世界」に向けた現実的かつ実践的な取組を進めていく使命を負っていることも認識しています。

NPT体制は、核兵器国、非核兵器国が広く参加する唯一の、「核兵器のない世界」に向けた、ユニバーサルな枠組です。その下で、現実的な取組を一步一步進めていくことが今こそ求められています。その中でも、FMCTは正に無くてはならないものだと確信しております。

FMCTフレンズ創設メンバーの皆様、なんとしてもFMCTの交渉開始にこぎ着けることができるよう、引き続き共通の目標に向かって共に取り組んでいきましょう。

ありがとうございました。

（了）